

株主の皆様へ

# 第13期報告書

2005年10月1日～2006年9月30日

証券コード：3814

## 企業理念



アルファクス・フード・システムは、「食文化の発展に情報システムで貢献する」ことを経営理念に、私たちが提唱する「食材ロスカット」「人件費ロスカット」を実現させる開発方針のもと、外食チェーン企業の情報システムインフラ企業となることを目指しています。

社名の「アルファクス」とは、ギリシャ語で、物事の始まりを意味する「α」と、限りない可能性を秘めた「X」を結びつけた造語です。

ご提案するソリューションの最初から最後まで、責任をもって取り組ませていただくという私たちの姿勢を示すものです。

この社名に、フードサービス業界専門の情報システム企業として、お客様とともに、業界発展のお手伝いをしたいという熱い思いを込めています。



## ASPサービス事業

顧客の外食企業に対して、売上分析システム、勤怠管理システム、在庫管理・在庫分析・受発注処理、セントラルキッチン等の基幹業務システムをASPで提供しています。

## システム機器事業

外食企業の本部情報分析精度を高めるために重要な情報収集端末である「POSシステム」及び「オーダーエントリーシステム」の自社企画商品の販売を行なっています。

## 周辺サービス事業

外食企業関連商品のワンストップサービスの一環として、Webサービスによる外食関連の情報発信や、サプライ品、機械修理及び他社商品の販売等を行なっています。

株式会社アルファクス・フード・システムは、顧客である外食企業に対し、食材ロス、人件費等「ヒト、モノ、カネ」といった経営コストのロスを徹底追求する「飲食店経営管理システム」を核とした各種システムの提供を行なっています。

当社の事業は、「飲食店経営管理システム」を核に各種システムをインターネット経由で提供するASPサービス事業、当社企画のオーダーエントリーシステム（「オーダーショット」）やPOSシステム等のハード機器の販売を行なうシステム機器事業、その他他社製品機器及びサプライ品等を販売する周辺サービス事業からなっています。

株主の皆様へ



株式会社アルファクス・フード・システムは、  
平成18年9月15日に  
大阪証券取引所「ヘラクレス」に  
上場いたしました。

代表取締役社長 田村隆盛

**お客様である外食企業の皆様と一緒に、食文化の発展を支える  
「情報システム・サービス」の創造に全力を注いでまいります。**

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社は平成18年9月30日をもって第13期を終了いたしましたので、ここに報告書をお届けしご報告申し上げます。

第13期は、当社企画のオーダーエントリーシステム（「オーダーショット」）及びASPサービスを中心とした営業活動に取り組んでまいりました。ASPサービスの着実な伸びに加え、システム機器事業における「オーダーショット」の売上増により、過去最高の売上と利益を達成することができました。

また、当社は、平成18年9月15日に大阪証券取引所ニッポン・ニュー・マーケット―「ヘラクレス」に上場いたしました、多くの株主の皆様をお迎えすることができました。これもひとえに、関係各位のご支援、ご指導の賜物と心から感謝申し上げます。

これからも謙虚さと誠実さを忘れず、日々お客様の声に耳を傾け、外食産業の情報システムインフラとなるようサービスの改善に努め、株主・投資家の皆様のご期待にお応えしていく所存です。

今後とも一層のご支援ご指導のほどよろしく願いたします。

# アルファクス・フード・システムの特徴と強み

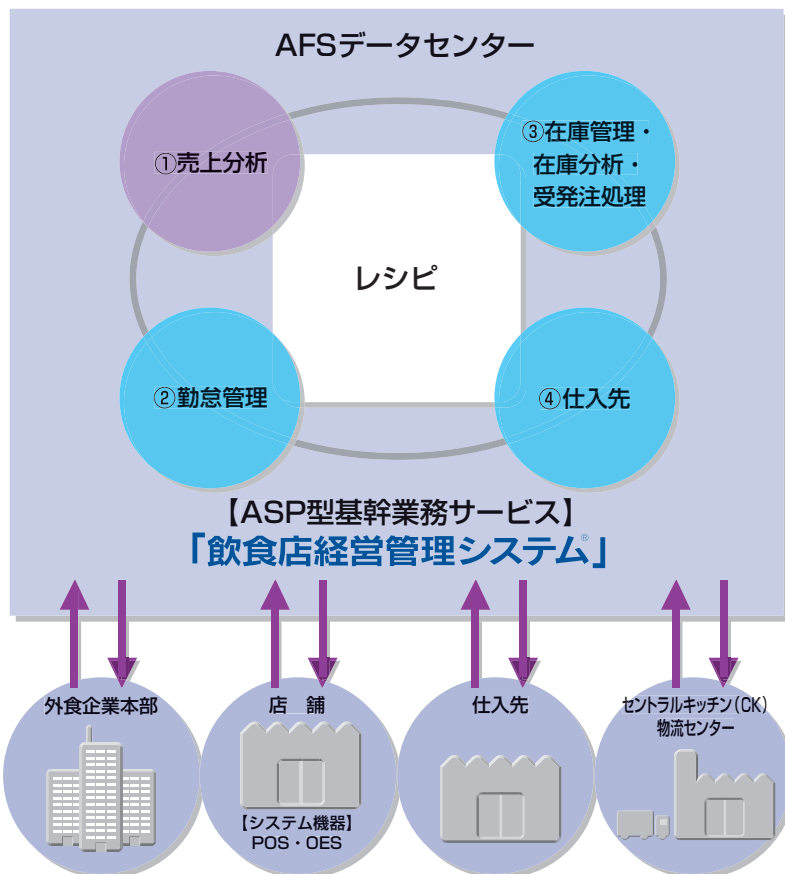
フードサービス専門情報システムのプロ集団として  
トータルソリューションを提供しています。

「**飲食店経営管理システム**」を核とした各種システムで外食チェーンをバックアップ

当社は、フードサービス業界専門の情報システム会社として、長年、業界特有の業務知識や運用のノウハウ、関連情報技術を蓄積し、お客様のニーズに的確かつフレキシブルに対応できる体制を整えてきました。

フードサービス業という顧客の業種を絞り込むことで、より高度なニーズへの対応力を高め、食材のロス管理を中心にお客様の最大利益追求を優先した「飲食店経営管理システム」を開発し、外食情報システムの完成基準として高い評価と支持を得てきました。

さらにPOSシステムやオーダーエントリーシステムといった店舗システム機器のラインナップも充実させ、店舗運営から本部基幹業務・物流・製造といった外食チェーン企業全体の情報システム構築・運用まで、フードサービス専門情報システムのプロ集団として、トータルソリューションで提供しています。

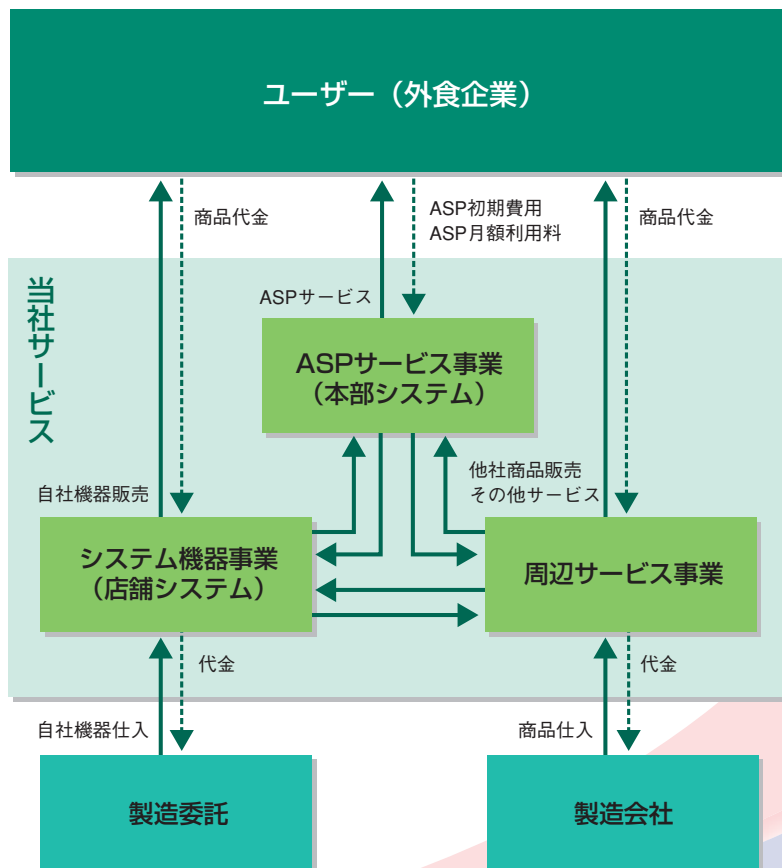


# ASP型「基幹業務サービス」店舗提供数 トップシェアを保っております。

## 外食情報システムの完成基準として高い評価と支持を獲得

当社が、外食企業向けソフトウェアとして発表した初の完全アプリケーション「飲食店経営管理システム」は、発表以来順調に顧客数を伸長させ、わずか数年で販売顧客数3,000店舗を超えました。この「飲食店経営管理システム」の顧客先へのさらなる普及と利便性の向上、随時サポート・監視フォロー体制を高めるために着目したのが、インターネットを経由したいわゆるASP型の基幹業務サービスです。

ASPサービスは現在も売上分析までが主流とされる中で、当社は、売上・受発注・原価・在庫・物流・勤怠・給与・財務と完全に連動したすべての基幹業務システムでASPサービスを提供しています。業界シェアNo.1の「飲食店経営管理システム」をコアシステムとして搭載した「αNETイントラネットサービス」は、外食情報システムの完成基準として高い評価と支持を得ています。



## 特集

# お客様への万全のサポートやサービスを 全国的ネットワークで提供しています。

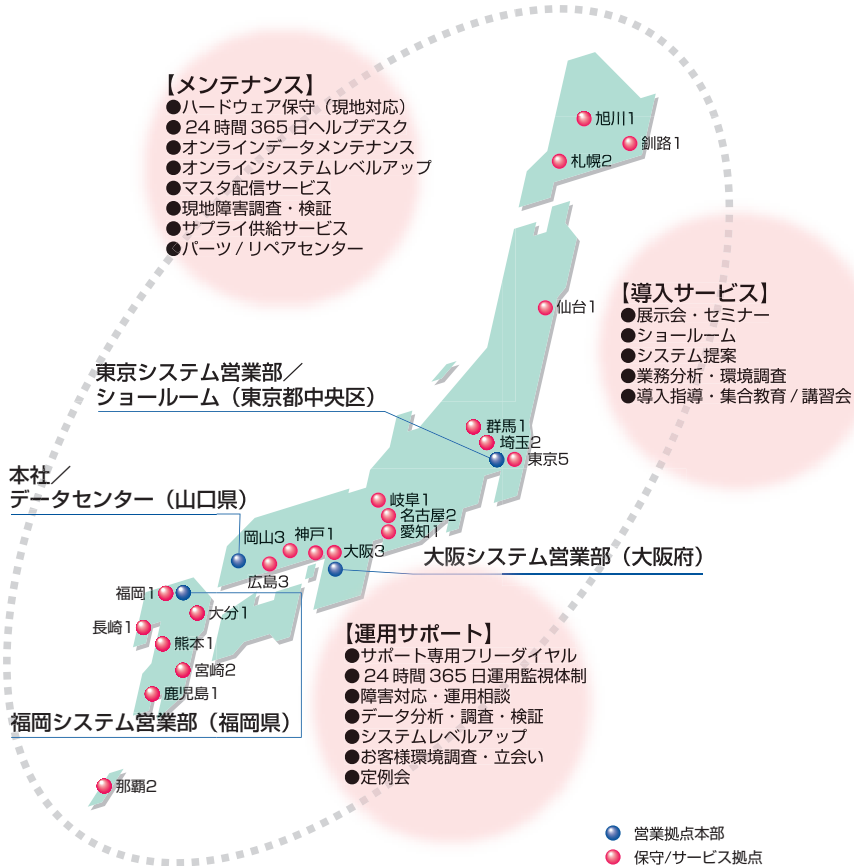
導入サポートから運用サービス、メンテナンスまで、お客様の業務を第一優先でサポート

当社は、導入サポートから運用サービス、メンテナンスまで一貫して、お客様の業務を第一優先で考えるサポート体制で全国サービスネットワークを構築しています。システム導入後のサポートやサービスは、当社データセンターで顧客企業ごとに異なるシステム環境や運用状況をリアルタイムに把握しながら、迅速かつ的確な対応を心がけています。

業界に精通した導入指導員による適切な運用アドバイスや、全国サポート拠点からのオンラインメンテナンスサポートサービスも、万全な運用フォローに対する当社の姿勢を表したものです。

また、企業の基幹情報システムをアウトソーシングする「α NETイントラネットサービス」では、システム導入時のコンサルティングはもちろん、稼働後はシステムの運用監視から各店舗のヘルプデスク業務までを「AFS集配信技術センター」が24時間365日でサポートするなど、万全の体制を敷いています。

## 全国営業／サービス拠点



※保守/サービス拠点は、委託先であるアンビュランス・コミュニケーション・ネットワーク株式会社の拠点です。

## 経営成績



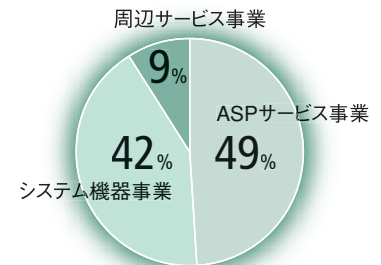
当事業年度におけるわが国経済は、原油価格高騰の長期化による世界的な景気への影響が懸念されましたが、企業収益の改善、個人消費及び設備投資の増加等が後押しとなり緩やかながら景気回復の兆候がみられるようになりました。

外食産業においては、BSE問題による米国からの牛肉輸入再開が遅れており、設備投資計画及び新規出店等に影響を及ぼしております。

以上のような経済環境において、当社の主要な顧客である外食産業に対して以下の取り組みを行なってきました。前事業年度より本格的に販売活動を開始した当社企画の「オーダーショット」を中心とした営業活動を行なった結果、オーダーショットの新規受注及びそれに伴うASPサービスの獲得が順調に推移し全体収益は増加いたしました。

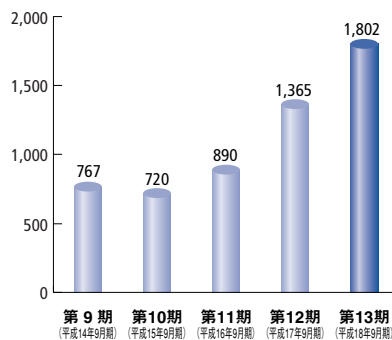
その結果、当事業年度の売上高は1,802,702千円（前事業年度比32.0%増）、営業利益は252,813千円（前事業年度比109.0%増）、経常利益は217,371千円（前事業年度比87.0%増）、当期純利益は134,416千円（前事業年度比23.7%減）となりました。

## 事業別売上高構成比率（第13期）



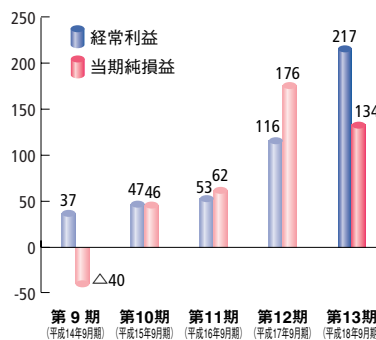
## 売上高

(単位：百万円)



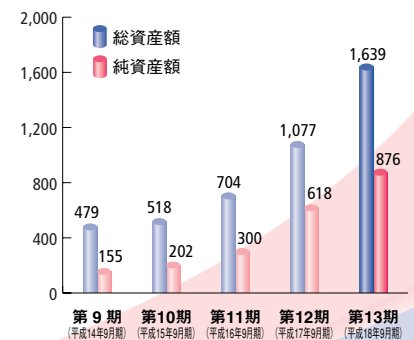
## 経常利益・当期純損益

(単位：百万円)



## 総資産額・純資産額

(単位：百万円)



## 財務諸表

## 貸借対照表 (要旨)

(単位：千円)

科 目	当事業年度 平成18年9月30日現在	前事業年度 平成17年9月30日現在	科 目	当事業年度 平成18年9月30日現在	前事業年度 平成17年9月30日現在
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
流動資産	1,435,505	807,306	流動負債	757,034	445,435
現金及び預金	595,081	389,820	固定負債	6,035	13,679
受取手形	6,850	4,916	<b>負債合計</b>	<b>763,070</b>	<b>459,114</b>
売掛金	365,195	167,796	<b>資本の部</b>		
商品	435,724	223,715	資本金	—	448,750
貯蔵品	462	564	資本剰余金	—	66,319
前払費用	10,235	9,293	利益剰余金	—	71,795
未収入金	18,983	8,512	その他有価証券評価差額金	—	31,200
繰延税金資産	10,946	5,513	<b>資本合計</b>	<b>—</b>	<b>618,065</b>
その他	152	526	<b>負債・資本合計</b>	<b>—</b>	<b>1,077,180</b>
貸倒引当金	△ 8,126	△ 3,353	<b>純資産の部</b>		
固定資産	204,234	269,873	株主資本	875,841	—
有形固定資産	89,720	145,132	資本金	526,030	—
無形固定資産	51,619	54,601	資本剰余金	143,599	—
投資その他の資産	62,894	70,139	利益剰余金	206,212	—
<b>資産合計</b>	<b>1,639,739</b>	<b>1,077,180</b>	評価・換算差額等	828	—
			その他有価証券評価差額金	828	—
			<b>純資産合計</b>	<b>876,669</b>	<b>—</b>
			<b>負債・純資産合計</b>	<b>1,639,739</b>	<b>—</b>

## 貸借対照表について

2006年5月1日施行の会社法により、「資本の部」が廃止され、「純資産の部」が新設されました。これは、貸借対照表上、資産性をもつものを「資産の部」、負債性をもつものを「負債の部」に記載し、それらに該当しないものを資産と負債との差額として「純資産の部」に記載するものです。



## 損益計算書（要旨）

（単位：千円）

科 目	当事業年度	前事業年度
	平成17年10月 1日から 平成18年 9月30日まで	平成16年10月 1日から 平成17年 9月30日まで
売上高	1,802,702	1,365,966
売上原価	1,029,630	836,062
売上総利益	773,071	529,904
販売費及び一般管理費	520,258	408,931
営業利益	252,813	120,972
営業外収益	5,597	14,016
営業外費用	41,038	18,748
経常利益	217,371	116,240
特別利益	32,538	86,477
特別損失	18,481	—
税引前当期純利益	231,428	202,718
法人税、住民税及び事業税	111,892	49,726
法人税等調整額	△ 14,880	△ 23,191
当期純利益	134,416	176,183
前期繰越損失	—	104,387
当期末処分利益	—	71,795

## キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：千円）

科 目	当事業年度	前事業年度
	平成17年10月 1日から 平成18年 9月30日まで	平成16年10月 1日から 平成17年 9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 290,779	126,812
投資活動によるキャッシュ・フロー	19,572	△ 87,416
財務活動によるキャッシュ・フロー	516,468	△ 6,904
現金及び現金同等物の増加額	245,261	32,492
現金及び現金同等物の期首残高	289,820	257,327
現金及び現金同等物の期末残高	535,081	289,820

## 株主資本等変動計算書

当事業年度（平成17年10月1日から平成18年9月30日まで）

（単位：千円）

	株主資本					株主資本 本計 合	評価・換算差額等		純 資 産 計
	資 本 金	資本剰余金		利益剰余金			そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	
		資本準備金	資本剰余金 合 計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合 計				
平成17年9月30日 残高	448,750	66,319	66,319	71,795	71,795	586,865	31,200	31,200	618,065
事業年度中の変動額									
新株の発行	77,280	77,280	77,280			154,560			154,560
当期純利益				134,416	134,416	134,416			134,416
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額（純額）							△ 30,372	△ 30,372	△ 30,372
事業年度中の変動額合計	77,280	77,280	77,280	134,416	134,416	288,976	△ 30,372	△ 30,372	258,604
平成18年9月30日 残高	526,030	143,599	143,599	206,212	206,212	875,841	828	828	876,669

### 株主資本等変動計算書について

2006年5月1日施行の会社法により、「株主資本等変動計算書」が新設されました。これは、貸借対照表の純資産の部の中で、主として株主の皆様へ帰属する株主資本について、その1会計期間における変動事由と変動額を、ご報告するために作成する計算書類です。

## 会社概要・株式の状況

### ■会社概要 (平成18年9月30日現在)

社名	株式会社 アルファクス・フード・システム (ALPHAX FOOD SYSTEM CO., LTD.)
創業	平成5年12月9日
資本金	5億2,603万円
代表者	代表取締役社長 田村隆盛
事業内容	外食企業向け 1.ASP方式による各種イントラネット基幹業務サービス 2.システム機器の企画・販売 3.ハードウェア・ソフトウェアの全国メンテナンスサービス 4.Webによる業界専用ポータルサイト (外食総合eマーケットプレイス)の運営・提供
本社	〒755-0052 山口県宇部市西本町二丁目11番2号 TEL(0836)32-5161(大代表) FAX(0836)32-2292
データセンター	〒755-0052山口県宇部市西本町二丁目14番30号
社員数	85名
取引銀行	みずほ銀行/兜町支店、三菱東京UFJ銀行/宇部支店、 三井住友銀行/築地支店、山口銀行/宇部支店

### ■役員一覧 (平成18年9月30日現在)

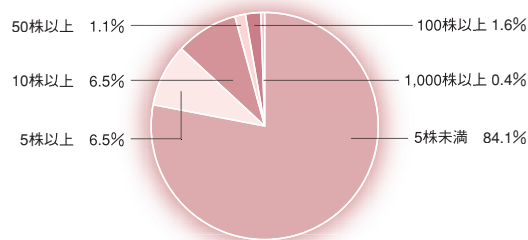
代表取締役社長	田村隆盛
取締役	宇多田純三
取締役	徳原政治
社外取締役	安部公己
常勤監査役	三澤忠雄
社外監査役	古閑謙士
社外監査役兼	石吉生

### ■株式の状況 (平成18年9月30日現在)

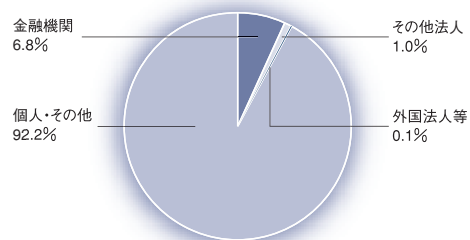
発行済株式総数	24,526株
株主数	853名
大株主	

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
田村隆盛	13,357	54.5
鎌田英哉	2,550	10.4
加藤繁夫	1,730	7.1
中野龍	830	3.4
ニッセイ・キャピタル1号投資事業組合	440	1.8
野村証券株式会社	410	1.7
大阪証券金融株式会社	357	1.5
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	322	1.3
野尻哲也	300	1.2
榊原暢宏	200	0.8

### ■所有株式数別株主数比率



### ■所有者別株式数比率



アルファクス・フード・システムの主要製品

# 全国の外食産業 5,827<sup>※</sup> 店で活躍しています!

※ASP契約店舗数を含む



## 複数の店舗業務をカバーするマルチ多機能端末

オーダー端末となる「Handy shot」は、1台7役(一般オーダー、テーブルオーダー、アンケート集計、発注、検品、棚卸、勤怠)をこなすマルチ多機能端末です。



FOOD EXPRESS 21  
Handy shot

FOOD GENESIS 21  
オーダーショット

## フード業界専用POSレジスター

面倒なメニュー変更もオンラインでAFSよりメンテナンスいたします。どこまでも、現場の視点に立ったPOSレジスターです。



FOOD alpha 3000

- 「オーダーショット」は、現場で重要視される操作性、レスポンス、メンテナンス性を従来のものより飛躍的に進化させた上で、1台7役をこなす入力端末「Handy shot」により、オーダー業務以外の複数の店舗業務もカバーする新時代・新発想のオーダーエントリーシステムです。
- 「FOOD alpha 3000」は当社がこれまでに蓄積してきたPOS会計システムの技術資産と現場のニーズを結集したフード業界専用POSレジスターです。会計に必要な基本機能に加えて、オーダーエントリーシステム、周辺機器との連動、当社ASPサービスとの連携が可能です。

## 株主メモ

事業年度 10月1日から翌年9月30日まで  
定時株主総会 事業年度終了後3カ月以内  
上記基準日 9月30日  
剰余金の配当基準日 毎年9月30日及び中間配当の支払いを行う時は3月31日  
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
同連絡先 〒137-8081  
東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話0120-232-711(フリーダイヤル)  
同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店  
公告方法 電子公告により行ないます。  
但し、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行ないます。  
なお、電子公告記載の当社ホームページアドレスは以下のとおりです。  
<http://www.afs.co.jp/>

株主の皆様へ当社の各種情報を提供する  
ホームページを開設しています。  
<http://www.afs.co.jp/>

当社のホームページでは、株主・投資家の皆様向けのIR情報をはじめ、最新の企業活動をお知らせするニュースリリース、新製品に関することなど、さまざまな情報を提供しています。



—— 食文化の発展に情報システムで貢献する ——  
株式会社 **アルファクス・フード・システム**  
ALPHA F.S. CO., LTD.®

〒755-0052 山口県宇部市西本町二丁目11番2号  
TEL (0836) 32-5161 (大代表) FAX (0836) 32-2292